

中国语补语例解

(日文版)

编著者\侯精一 徐枢 张光正 蔡文兰

译著者\田中信一 西槇光正 武永尚子



商 务 印 书 馆

中国语补语例解

(日文版)

编著者	侯精一	徐 枢
	张光正	蔡文兰
译著者	田中信一	西棋光正
	武永尚子	

商 务 印 书 馆

2001 年 · 北京

图书在版编目(CIP)数据

中国语补语例解/侯精一等编著; (日)田中信一等
译. —北京: 商务印书馆, 2001
ISBN 7-100-03029-3

I. 中... II. ①侯... ②田... III. 汉语—补语—日
文 IV. H146.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2001)第 07006 号

所有权利保留。

未经许可,不得以任何方式使用。

ZHONGGUÓYŪ BŪYŪ LĪJIĒ

中国语补语例解

(日文版)

编著者 侯精一 徐 枢 张光正 蔡文兰

译著者 田中信一 西楨光正 武永尚子

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街 36 号 邮政编码 100710)

商 务 印 书 馆 发 行

中 国 科 学 院 印 刷 厂 印 刷

ISBN 7-100-03029-3/H·768

2001 年 3 月第 1 版 开本 850×1168 1/32

2001 年 3 月北京第 1 次印刷 印张 20

定价: 30.00 元

序

当代语言学的发展趋势表明,单纯的结构分析已不足以反映复杂的语言现象。汉语的补语用法灵活,语义指向也比较复杂,既是汉语句法的重要特点,也是对外汉语教学的难点。就其句法关系而言,哪些动词、形容词能够与哪些补语组合,哪些动词、形容词不能够与哪些补语组合,这其中虽然不无规律可循,但也往往带有很强的习惯性。因此,仅凭抽象的句法规则就很难举一反三。从对外汉语教学和研究的实际需要出发,我们编写了这本《中国语补语例解》(日文版)。

这本书共收录了常用的动词和形容词约 1000 余条(按义项出条约1500余条),并分别举例说明不同义项的动词、形容词与各类补语的搭配用法,旨在通过大量的实例,为汉语的学习者和使用者提供简明、实用的参考。

书名定为《中国语补语例解》是考虑到“中国语”一词在日本习惯于指“汉语”。这里的“中国语”并不包括中国境内其他民族的语言。

日本是汉语的学习者与使用者比较多的国家,这本《中国语补语例解》首先以日文版问世,对于促进日本的中国语教学,加强中日两国同行的交流无疑是很有意义的。

著 者

1999 年 12 月 22 日

まえがき

現在の言語学の発展傾向を見れば明らかなように、単純な構造分析だけでは複雑な言語現象を十分に説明することは出来ません。中国語の補語は用法の面で融通性があり、また語義が示す方向も比較的複雑です。そのため、中国語の構文において重要な特徴であると同時に、外国人が中国語を教える時困難な点ともなっています。構文についてだけ言っても、どの動詞・形容詞にどの補語が組み合わせられ、どの補語が組み合わせられないのか、そこには従うべき法則はありませんが、往々にして強い習慣性があります。従って、抽象的な構文法則にだけ頼ると、「一を聞いて十を知る」と言うような応用を利かせることは非常に困難です。外国人が中国語を教えたり、研究したりする時の実際の必要性から、私たちはこの『中国語補語例解』（日本語版）を編纂致しました。

本書には常用の動詞と形容詞が合わせて1072語（多義語を別項目として数えた場合は1548語）を収録し、それぞれの動詞・形容詞ごとにいろいろな補語の組み合わせの用例を挙げて説明しています。主旨は多くの用例を通して中国語学習者及び使用者に、簡明かつ実用的な用法の参考を提供することにあります。

書名を『中国語補語例解』としたのは、「中国語」という言葉が日本では習慣的に「漢語」を指していることを考慮したためです。つまりここで言う「中国語」は中国国内の他民族の言語を含んでいる、と言う訳ではありません。

日本は、中国語の学習者及び使用者の比較的多い国ですから、最初にこの『中国語補語例解』の、日本語版を出版して世に問うこと

は、日本の中国語教育の促進、そして日中両国の教育者同士の交流
にとって間違いなく有意義なことであると信じます。

著 者

1999 年 12 月 22 日

補語分類の説明

中国語の補語は数が多く、活用範囲が広いので、それをいかに正確に分類し、その用法をいかに余すところなく伝えるが、編集する上でのポイントとなる。補語分類を研究する過程において、本書ではまず語義分析に重点を置いた上で、形式上の特徴を参考にして、補語を以下の七種類に分けた。

1. 結果補語。本文では簡単に【結果】とする。
 2. 方向補語。本文では簡単に【方向】とする。
 3. 可能補語。本文では簡単に【可能】とする。
 4. 介連補語(介詞連語補語)。本文では簡単に【介連】とする。
 5. 程度補語。本文では簡単に【程度】とする。
 6. 状態補語。本文では簡単に【状態】とする。
 7. 数量補語。本文では簡単に【数量】とする。
- 以下それぞれについて、語義・形式の両面から説明する。

1. 結果補語

例えば

打破(打ち破る); 染红(赤く染める); 洗干净(きれいに洗う)

このタイプの組み合わせは割合に自由で、語義も比較的複雑である。従って、本書では結果補語を重点的に列挙した。

結果補語では述補構造の述語と補語は直接的、密接的に結び付いているので、助詞“了”や“过”は述補構造全体の後ろに置かれる。

例えば

学会了(マスターした); 烤干了(あぶって乾かした); 喝醉过(酔

ったことがある)

また、述語と補語の間に「得」あるいは「不」を入れると、可能の意味を表わす構造(可能補語)になる。例えば

长大(成長する)——长得大(成長出来る)/长不大(成長出来ない)

听懂(聞いて理解する)——听得懂(聞いて理解出来る)/听不懂(聞いて理解出来ない)

2. 方向補語

方向補語の語義上での特徴は、動作・行為をする人と、話し手又は事物の間の方向・位置などの関係を表わしていることである。

例えば

拿来一本书(本を一冊持って来る);送去一封信(手紙を一通届ける)

爬上山顶(山頂に登る);走回去(歩いて帰る)

方向補語の中にはさらに抽象化した用法、あるいは原義から派生した用法もある。

例えば

买上两斤苹果(リンゴを二斤買う);奏起国歌(国歌を演奏し始める);热起来了(暑くなってきた);一直说下去(ずっと話し続けていく);坐得下((場所が広いので)座り切れる)/坐不下((場所が狭いので)座り切れない);睡得开((場所が広くて)寝られる)/睡不开((場所が狭くて)寝られない)

これらの例のうち、“上”は補足字と見なすことが出来、用法は非常に抽象的である。“起”と“起来”は「～し始める」の意味であり、“下去”は継続の意味で、“下”と“开”はいずれも「収容する」の意味である。比較して使用しやすいように、本書では、このような用法もすべて方向補語の中に入れてある。

方向補語では述補構造の述語と補語は直接的、密接的に結び付いているが、助詞“了”は補語の前においてもよいし、補語の後ろに置くことも出来る。

例えば

跑了下去 (駆け下りて行った); 登上来了 (登って来た)

述語と補語の間に“得”あるいは“不”を入れると、可能を表わす意味となる。

例えば

拿来 (持って来る)——拿得来 (持って来られる) / 拿不来 (持って来られない); 开过来 (運転して来る)——开得过来 (運転して来られる) / 开不过来 (運転して来られない)

3. 可能補語

可能補語の語義上での特徴は動作・行為あるいは性質・状態の変化が可能か不可能か、また能力が有るか無いかを表わしていることである。

例えば

去得了 (行ける) / 去不了 (行けない); 轻得了 (軽く出来る) / 轻不了 (軽く出来ない); 担当得了 (責任を負い切れる) / 担当不了 (責任を負い切れない); 顾得过来 (気を配ることが出来る) / 顾不过来 (気を配り切れない)

この類型の述補構造は“得”か“不”を使って可能を表わしてはいるが、結果補語あるいは方向補語で述語と補語の間に“得”“不”を加えたものとは異なる。後者は“得”か“不”を入れても補語は依然として結果あるいは方向の意義を残しているので、本書では可能補語としては扱っていない。

本類型での可能補語は形式上の特徴が比較的顕著で、多くは決まった熟語性を備えていて、必ず“得”か“不”を用い、また動詞・形容

詞との結合能力もかなり強い。

4. 介連補語

介連補語の語義の特徴は、介詞を使って動作・行為と関係のある時間・場所・方向・対象などを表わすことにある。

例えば

写到三点钟（三時まで書く）；送给他（彼にあげる）；开往北京（北京行き）；飞向远方（遠方に向けて飛ぶ）；生于一九三四年（1934年に生まれた）；放在桌子上了（机の上に置いた）；来自加拿大（カナダから来た）

このタイプの補語構造は結合力が強いので、助詞“了”は介詞構造の後にしか置けない。

5. 程度補語

程度補語の語義の特徴は性質・状態あるいは心理上においてかなりの程度に達している様を表現することである。

例えば

高兴极了（すごくうれしい）；气死我了（まったくしゃくにさわる）；坏得很（とても悪い）；脏透了（非常に汚い）

本書で扱う程度補語は、“很”“多”“极了”“要死”“要命”など語彙の意義自体が程度を表すものに限った。程度補語の文法意義と文法形式は性質・状態・行為・動作・心理活動に対する描写である状態補語とは異なる。例えば“玩儿得高兴极了”（とても楽しく遊んだ）の中の“高兴极了”は“玩儿”の補語であり、行為・状態に対する描写であるから状態補語である。“高兴极了”の中の補語“极了”は、心理活動が一定の程度に達したことを説明しているので程度補語である。程度補語と組み合わせられる述語は主として性質形容詞か心理動詞に限られる。このタイプの述補構造は、直接結合す

るものと、“得”を伴う間接結合のものがある。助詞“了”は述補構造の後に置く。

例えば

气坏了他了（彼はかんかんに怒った）；恨透了这种人（この手の人間を徹底的に憎んだ）

6. 状態補語

状態補語の語義の特徴は、主として動作・行為・性質・状態および心理活動に対する説明あるいは描写である。

例えば

写得很认真（まじめに書いてある）；说得轻描淡写（大づかみに話した）；累得喘不上气（息切れがするくらい疲れている）；高兴得跳了起来（飛び上がって喜んだ）

この類型の述補構造の特徴は、必ず述語の後に“得”を伴うことである。結果補語の可能形と形は似ているが、状態補語における“得”はあくまで述語に付いたもので、否定する時は“跑得不快”のように補語を“不”で否定する。

7. 数量補語

数量補語の語義の特徴は動作・行為あるいは性質・状態とに関係のある量を補充説明することである。

例えば

看过一次（一度見たことがある）；说了一下（ちょっと話した）；打扫了半天（長いこと掃除をした）

この類型の述補構造は述語と補語が直接結合したものであるが、“了”や“过”は述語と補語の間におくことができる。目的語がある場合は、目的語は補語の前におくこともあるし、補語の後ろにおくこともある。

例えば

请过老张两次（張さんを2 回ご馳走したことがある）;**请过两次老张**（張さんを2 回ご馳走したことがある）

体 例 説 明

- 一、見出し字は中国語**拼音字母**（ローマ字表記）の順に配列しており、また巻末に語彙の音順索引と筆画索引を付した。
- 二、見出し字は意義項目によって分け、意義項目が異なると文法機能も異なることを示している。意義項目の順はよく見られるものを先に配した。
- 三、補語は七種の類型に大別しており、詳細は《補語分類の説明》の中で説明している。
- 四、各類型の補語内部での配列順序について。
 - ①結果・方向・可能・介連・程度の五種の補語は発音順に配列した。
 - ②その内、結果・方向の両補語は先ず単音節補語を配し、その後で二音節補語を配した。
 - ③程度補語は先ず「得」を伴わない直接結合を、その後に「得」を伴った間接結合を配した。
 - ④状態補語の配列順序は、代名詞・形容詞・重ね型及び各種の連語の順である。
 - ⑤数量補語の配列順序は、動作の回数・時間の長さ・普通名詞を動量詞として借用したものの順である。
- 五、各類型の補語にはいずれも例文を付けている。よく見られる言葉の組み合わせ及び熟語的な結び付きを多く取り上げるようにし、使用頻度の低い述補構造のものは全く取り上げないか、あるいは全く取り上げていない。
- 六、見出し字にはすべて**拼音**を付けているが、その他、文中でも分

かりにくい単語には**拼音**の注を付けている。

七、使用符号

(1) (2) (3) ……単語の異義項目を示す。

【 】……補語の類型を示す。例えば【結果】【程度】……

～ ……見出し字の省略符号。

() ……文中での**拼音**の注。および日本語訳。

/ ……相互入れ替えが可能であることを示している。例えば
 “去得了/不了”は“去得了”でも“去不了”でもよい(入れ
 替えられる)ことを示している。

; ……用例を示す。

⇒ ……以下に示す数量補語と程度補語分類例解への参照を示す。例えば、中国語の例文の後に「⇒1－①」とあれば、数量補語例解の中の「1－①」を参照すること。「⇒2－①」とあれば、程度補語分類例解の中の「2－①」を参照すること。

1. 数量補語

1－① 遍 (biàn) 回、度、遍、一わたり、一通り、(動作が始
めから終わりまで通して行われる時に使
われる)

(例) 说一～ (1度話す、一通り話す)

教一～ (一わたり教える)

问了三～ (3遍尋ねた)

1－② 次 (cì) 回、度、遍、(繰り返し行われる動作の回
数。過程の一部でも構わない)

(例) 来过三～ (3度来たことがある)

讨论了几～ (何度か討論した)

1－③ 回 (huí) 回、度、遍、(“次”と同様だが、“次”よりも
口語的)

(例) 来了一～(1 度来た)

听过两～(2 回聞いたことがある)

1—④ 趟(tàng) 回. 度. 遍. (人や車の往復の回数)

(例) 去一～(1 度行って来る)

这件事我跑了几～(この事で私は何回も行った)

1—⑤ 一番(yīfān) 回. 度. 遍. (通り一遍でない、あるいは時間が掛かり、複雑な内容を持った動作の回数を表わす場合に使われる。)

(例) 思考～(じっくり考えてみる)

说了～话(1 度とっくりと話をした)

下了～苦心(相当に苦心した)

1—⑥ 一气(yīqì) 一しきり. しばらく. (→“一阵”)

(例) 瞎闹～(一しきりばか騒ぎをする)

骂了～(しばらく罵った)

1—⑦ 一通(yītòng) 一しきり. しばらく. 一通り. (→“一阵”)

(例) 闹了～(一しきり騒ぎが続いた)

挨了～骂(一しきり罵られた)

1—⑧ 一下(yíxià) ちょっと……する. (試しに)……してみる.

(例) 看～(ちょっと見てみる)

我先打听～(先にちょっと聞いてみよう)

请等～(少々お待ち下さい)

1—⑨ 一会儿(yīhuìr) しばらく. ちょっと. (短い時間を表す)

(例) 休息～吧(しばらく休みましょう)

听了～,……(しばらく聞いて……)

1—⑩ 一阵(yīzhèn) 一しきり. しばらく. (動作や状況が継

続している一定の時間をいう。“一气”
“一通”“一阵”は大体同じような用法
だが、“一气”は何日、何年という場合には
使えない。また“一阵”は“好”で修飾
して“好一阵”とし、さらに長いことを
表すことが出来る)

(例) 说～笑～(一しきり話したり笑っ
たりする)

1-⑪ 半天(bàntiān) 長時間. 長いこと. しばらく. (動作が
主観的に長いと感じたときに用いる)

(例) 谈了～(長い時間話し合った)

等了～, 他才来(長いこと待って
ようやく彼は来た)

2. 程度補語

2-① 多了(duōle) ずっと. はるかに. (=“得多” 比較の
結果差が大きいことを表す)

(例) 病人今天好～(病人は今日はずっ
と良くなった)

他比我强～(彼は私よりもずっと
ました)

2-② 极了(jíle) とても. 実に. ものすごく. 非常に. 極
めて. (“透了”と同様、程度が極限に達
していることを表す. よい事にも悪い
事にも使われる)

(例) 忙～(ものすごく忙しい)

有意思～(とっても面白い)

2-③ 坏了(huàile) ひどく……だ. ……てたまらない.

(例) 饿～(ひもじくてたまらない)

这两天把我忙～（この2、3日は忙しくててんてこ舞いだった）

2-④ 死了 (sǐle) ひどく……だ。極度に……だ。……でたまらない。

（例）高兴～（うれしくてたまらない）

气～（全く腹が立つ）

2-⑤ 透了 (tòule) とても、実に。ものすごく、非常に、極めて。（＝“极了”。望ましくない、または好ましくない事に使われることが多い）

（例）恨～（骨の髄まで恨んだ）

伤心～（悲しみに暮れた）

他坏～（あいつはまったく悪いやつだ）

2-⑥ 得多 (—de duō) (……に比べて) ずっと……だ。（＝“多了”）

（例）比你快～（君よりずっと速い）

少～了（ずっと少なくなった）

2-⑦ 得很 (—de hěn) 非常に……だ。とても……だ。

（例）好～（とてもよい）

快～（すごく速い）

2-⑧ 得慌 (—de huāng) ひどく……だ。……でたまらない。

（例）饿～（腹ぺこだ）

心里想～（懐かしくてならない）

2-⑨ 得够呛 (—de gòuqiàng) ……でたまらない。とても……だ。

（例）疼～（痛くてたまらない）

气～（大変な怒りようだ）